

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

法人の概要（令和6年6月28日時点）

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日
昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日
昭和57年8月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 5人 理 事 7人 監 事 2人
評 議 員 青 木 由 紀 子 (湯梨浜町商工会女性部長)
" 岩 本 善 文 (倉吉商工会議所専務理事)
" 広 田 一 恭 (倉吉市長)
" 清 水 文 人 (学校法人藤田学院鳥取短期大学教授)
" 中 村 吉 孝 (鳥取県生活環境部自然共生社会局長)
理 事 長 田 村 満 男
常 務 理 事 田 村 満 男 (理事長兼務)
理 事 宮 脇 正 道 (湯梨浜町長)

理 事 松 浦 弘 幸 (三朝町長)

” 手 嶋 俊 樹 (北栄町長)

” 加 藤 礼 二 (倉吉市副市長)

” 中 江 亜 紀 子 (有限会社中江組代表取締役)

” 清 水 広 明 (鳥取県生活環境部自然共生社会局水環
境保全課長)

監 事 木 天 昌 明 (税理士)

” 植 原 徳 彦 (行政書士)

7 職 員 8 人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬 1 5 1 7 番地

令和5年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運営業務を行う指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和5年度決算額は、490,680千円であり、主要機器の分解整備工事など予防保全的修繕を着実に実施するとともに、効率的な管理運営により経費の縮減に取り組んだが、修繕工事の増加などで、前年度比1.5%の増加となった。

1 天神川流域下水道の管理運営業務

(1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化等として有効活用を図った。

流入汚水量は年間6,969千 m^3 （日平均19,042 m^3 ）で前年度比0.3%の増加となり、脱水汚泥は年間4,375トで3.8%の減少、使用電力量は4,035千kwhで3.9%の減少であった。

また、汚水処理原価（指定管理料÷年間流入汚水量）は、70.4円/ m^3 となった。

[水処理及び汚泥処理の状況]

① 流入汚水量

年間計画流入水量7,098,000 m^3 （日平均19,394 m^3 ）に対し、実績は次のとおりであった。

日平均	19,042 m^3
年間合計	6,969,655 m^3

② 水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成した。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質 除去率
BOD (mg/l)	140	4.9	15	96%
浮遊物質 (SS) (mg/l)	120	1.0	40	99%

※BOD＝生物化学的酸素要求量

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕として沈砂池サイクロン他、汚泥サービスタンク、令和4,5年度実施の3号主ポンプVVVF制御装置等の工事、計画的な分解整備（オーバーホール）として水中エアレータ、2号スクリーンプレス脱水機、令和4,5年度実施の3,4号返送汚泥ポンプの工事や流量計測設備修繕工事の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

(3) 緊急時の対応

天神川流域下水道非常時対応要綱に基づき、公社の運用方法等（緊急非常時対応基準書、異常大量流入水時の運転計画）を定め、水害、地震・津波、異常流入水、下水道施設の破損等に備えている。

6月に総合訓練を実施して、令和3年7月に発生した豪雨による異常大量流入水を教訓に、災害本部の立ち上げ、着水井ゲート操作、緊急点検等を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症は、5類相当に移行されたが、陽性者発生時にはマニュアルに基づき、適切に対応することができた。

2 下水道の水質分析等

令和5年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	405回
検体数	20,147検体

3 下水道技術者の養成

公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に参加した。

4 下水道技術の調査研究

下水道研究発表会（ライブ配信）に参加して、下水道に関連する技術や下水道経営などに関する日頃の研究成果や実務事例等を聴講した。また、毎月1回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

5 下水道知識の普及及び啓発等

(1) ホームページをリニューアルして下水道の仕組み、公社の財務状況、水処理状況等見やすいホームページに更新した。

(2) 下水道についての理解と普及促進を図るための取組

ア ぐるり水の探検

中部地区の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池、天神浄化センターの施設見学、顕微鏡の観察、水質検査等の体験を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めてもらった。開催は、令和元年度以来4年ぶりに開催した。

開催日：7月29日、参加者：中部地区の親子 34家族82名

イ 第35回下水道コンクール

中部地区の小学校4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：ポスター3点、習字18点、標語13点

応募作品数：令和4年度より21%の増加

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和5年度作品数	5	579	165	749
令和4年度作品数	48	362	209	619

開催日：審査会9月21日、表彰式11月3日（倉吉交流プラザ）、

展示会10月31日～11月3日（倉吉未来中心）

ウ 下水道ふれあい教室

職員が小学校に出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の出前授業行う予定であったが、希望する小学校がなかった。

エ 施設見学者への対応

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、見学者の受入れを行った。

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおり。

年度	総 数	内 訳		
		一 般	学校関係	官公庁職員
令和5年度	666人	17人	649人	0人
令和4年度	570人	0人	570人	0人

6 中期経営計画の取組

令和5年度が3年目となる中期経営計画2021（令和3年度～令和6年度）に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化に取り組んだ。

(1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

毎月1回のペースで水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んだ。

- 4月 中期経営計画2021の中間評価について
- 5月 令和4年度エネルギー消費量削減について
- 6月 保安教育（電気の基礎知識）について
- 7月 令和6～令和10年度の指定管理申請の内容について
- 8月 令和5年度ぐるり水の探検の振り返りについて
- 9月 1号主ポンプの更新による電力量削減効果について
- 11月 令和4年度維持管理実績概要と今後の取り組みについて
- 1月 新たな化学物質管理について
- 2月 令和5年度TEASⅡの取組について
- 3月 令和6年度実行予算と業務の効率化について

7 その他

(1) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会に出席した。

- ・第45回全国下水道公社連絡協議会（主催：山形県建設技術センター）
- ・第29回中国四国下水道公社連絡協議会（主催：広島県下水道公社）

(2) 県等の監査、検査

- ・特定毒物に係る立入検査（倉吉保健所） 指摘事項なし
- ・財政援助団体本監査（県監査委員） 指摘事項なし

(3) 雨天時浸入水に係る関連公共下水道との意見交換会

梅雨時期の豪雨が予想されることから、令和3年度の状況を踏まえ、現状や危機管理体制等について、県・関連公共市町との意見交換を実施した。

(4) 人権教育の研修会

次のとおり研修会への参加、職場内研修を開催した。

- ・人権推進員研修 5月23日
- ・あいサポート企業認定に伴うあいサポーター研修を実施し、あいサポート企業に認定された。（認定日：10月13日）
- ・職場内人権研修会 3月14日

(5) 防災訓練等

消防計画、危機管理マニュアルに基づき、訓練を実施した。

- ・総合訓練 6月22日（異常流入水の対応の総合訓練を実施 →処理場班本部の立上げなどの訓練）

- ・ 消防訓練、救急救命訓練 2月29日

(6) 維持管理年報の作成

令和5年度より冊子を作成するのではなくPDFファイルをCDに保存するとともにホームページに掲載した。

(7) 業務の確認等

- ・ 脱水汚泥の処分業務委託について、搬出、処分状況を確認した。(岡山県真庭市、兵庫県加古川市、境港市)
- ・ 令和6年度の業務用薬品(高分子凝集剤)の使用に当たり、薬品の選定作業の立ち会い確認を行った。(京都府八幡市)

正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60	60	0	
基本財産受取利息	60	60	0	
事業収益	490,680,143	483,303,909	7,376,234	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	490,680,143	483,303,909	7,376,234	
雑収益	274	249	25	
受取利息	274	249	25	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	490,680,477	483,304,218	7,376,259	
(2) 経常費用				
事業費	476,079,038	465,901,824	10,177,214	
役員報酬	4,142,233	3,816,925	325,308	
給料手当	29,554,433	28,172,748	1,381,685	
退職給付掛金	1,842,000	1,692,000	150,000	
福利厚生費	5,507,337	5,261,753	245,584	
会議費	8,812	0	8,812	
旅費交通費	193,960	0	193,960	
通信運搬費	373,738	352,793	20,945	
消耗品費	22,456,528	18,378,812	4,077,716	
修繕費	83,094,489	62,328,425	20,766,064	
印刷製本費	38,280	457,820	△ 419,540	
燃料費	706,573	611,133	95,440	
光熱水料費	104,439,292	113,393,073	△ 8,953,781	
賃借料	1,545,997	1,262,403	283,594	
保険料	36,131	52,790	△ 16,659	
手数料	547,570	140,512	407,058	
租税公課	4,845,053	4,781,813	63,240	
委託費	216,593,892	225,112,724	△ 8,518,832	
負担金	152,720	86,100	66,620	
管理費	14,703,701	16,730,320	△ 2,026,619	
役員報酬	1,035,559	954,231	81,328	
給料手当	6,237,279	7,453,254	△ 1,215,975	
退職給付掛金	288,000	468,000	△ 180,000	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,207,952	1,387,895	△ 179,943	
会議費	6,000	5,160	840	
旅費交通費	182,800	303,330	△ 120,530	
通信運搬費	241,288	260,687	△ 19,399	
消耗品費	870,824	962,921	△ 92,097	
修繕費	93,896	75,627	18,269	
印刷製本費	0	100,925	△ 100,925	
燃料費	188,635	201,118	△ 12,483	
光熱水料費	889,785	957,957	△ 68,172	
賃借料	673,936	563,953	109,983	
保険料	57,890	59,760	△ 1,870	
諸謝金	232,600	241,400	△ 8,800	
手数料	161,930	144,115	17,815	
租税公課	554,647	343,887	210,760	
委託費	1,522,400	2,062,940	△ 540,540	
負担金	258,280	183,160	75,120	
経常費用計	490,782,739	482,632,144	8,150,595	
当期経常増減額	△ 102,262	672,074	△ 774,336	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 102,262	672,074	△ 774,336	
一般正味財産期首残高	2,180,888	1,508,814	672,074	
一般正味財産期末残高	2,078,626	2,180,888	△ 102,262	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	5,078,626	5,180,888	△ 102,262	

正味財産増減計算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60			60
基本財産受取利息	60			60
事業収益	475,984,740	14,695,403		490,680,143
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	475,984,740	14,695,403		490,680,143
雑収益	274			274
受取利息	274			274
雑収益	0			0
経常収益計	475,985,074	14,695,403	0	490,680,477
(2) 経常費用				
事業費	476,079,038			476,079,038
役員報酬	4,142,233			4,142,233
給料手当	29,554,433			29,554,433
退職給付掛金	1,842,000			1,842,000
福利厚生費	5,507,337			5,507,337
会議費	8,812			8,812
旅費交通費	193,960			193,960
通信運搬費	373,738			373,738
消耗品費	22,456,528			22,456,528
修繕費	83,094,489			83,094,489
印刷製本費	38,280			38,280
燃料費	706,573			706,573
光熱水料費	104,439,292			104,439,292
賃借料	1,545,997			1,545,997
保険料	36,131			36,131
手数料	547,570			547,570
租税公課	4,845,053			4,845,053
委託費	216,593,892			216,593,892
負担金	152,720			152,720
管理費		14,703,701		14,703,701
役員報酬		1,035,559		1,035,559
給料手当		6,237,279		6,237,279
退職給付掛金		288,000		288,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,207,952		1,207,952
会議費		6,000		6,000
旅費交通費		182,800		182,800
通信運搬費		241,288		241,288
消耗品費		870,824		870,824
修繕費		93,896		93,896
印刷製本費		0		0
燃料費		188,635		188,635
光熱水料費		889,785		889,785
賃借料		673,936		673,936
保険料		57,890		57,890
諸謝金		232,600		232,600
手数料		161,930		161,930
租税公課		554,647		554,647
委託費		1,522,400		1,522,400
負担金		258,280		258,280
経常費用計	476,079,038	14,703,701	0	490,782,739
当期経常増減額	△ 93,964	△ 8,298	0	△ 102,262
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 93,964	△ 8,298	0	△ 102,262
一般正味財産期首残高	2,042,250	138,638	0	2,180,888
一般正味財産期末残高	1,948,286	130,340	0	2,078,626
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	4,948,286	130,340	0	5,078,626

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	32,884,651	36,319,921	△ 3,435,270
未収金	0	0	0
貯蔵品	2,078,626	2,180,888	△ 102,262
流動資産合計	34,963,277	38,500,809	△ 3,537,532
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	37,963,277	41,500,809	△ 3,537,532
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	497,330	176,724	320,606
仮受金	0	0	0
未払金	32,387,321	36,143,197	△ 3,755,876
流動負債合計	32,884,651	36,319,921	△ 3,435,270
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	32,884,651	36,319,921	△ 3,435,270
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産	2,078,626	2,180,888	△ 102,262
正味財産合計	5,078,626	5,180,888	△ 102,262
負債及び正味財産合計	37,963,277	41,500,809	△ 3,537,532

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 平成20年公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(2) 棚卸資産（貯蔵品）について

棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。

(3) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし
13. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳
該当なし
14. 関連当事者との取引の内容
該当なし
15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし
16. 重要な後発事象
該当なし
17. その他
資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項
(単位：円)

品名	当期末残高
業務用薬品	878,559
材料	37,768
自家用発電設備燃料	1,031,959
切手、収入印紙	130,340
合計	2,078,626

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	32,884,651
貯蔵品	業務用薬品（高分子凝集剤、 次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他） 材料（ろ過砂） A重油 切手、収入印紙	運転管理等に伴う年度末の在庫として 砂ろ過設備の材料として 自家用発電設備燃料として 郵送、契約書用として	878,559 37,768 1,031,959 130,340
流動資産合計			34,963,277
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行 羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している。	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			37,963,277
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する指定管理料返納金未払他	32,387,321
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税他預り金	497,330
流動負債合計			32,884,651
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			32,884,651
正味財産			5,078,626

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

該当なし

令和6年度事業計画

I 基本方針

当公社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和6年度～10年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

現指定管理期間の初年度となる令和6年度は、管理運営の方針に基づくとともに、引き続き中期経営計画の推進により、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

【管理運営方針】

- (1) 良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- (2) 適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- (3) 継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- (4) 下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- (5) 下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- (6) 連携協力と信頼性を確保すること

II 事業内容

1 天神川流域下水道の管理運營業務【567,790千円】

(1) 天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

・計画流入汚水量

令和6年度	令和5年度
6,991,000m ³ （日平均19,153m ³ ）	6,969,655m ³ （日平均19,042m ³ ）

・放流水質管理目標（年間最大値）

BOD(mg/ℓ)	SS(mg/ℓ)	大腸菌群数(個/cm ³)
10未満	10未満	30未満

・計画汚泥処理量

令和6年度	令和5年度
4,800t	4,375.7t

(2) 施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）等による予防保全的修繕を実施するなど、機能保全措置により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。
- エネルギー管理の徹底、脱水汚泥発生量の削減、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	<ul style="list-style-type: none">・天神浄化センター（処理能力 32,000m³/日）・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠・処理分区流量計測設備（23 箇所）・若土ポンプ場
------	---

・予防保全的修繕【87,670 千円】

①臨時的修繕

汚泥スクリーンタンク、重力濃縮機汚泥引抜弁、ケーキ貯留サイロ、非常用放送設備、送風機棟無停電装置電池他

・事後対応修繕【5,376 千円】

修繕費枠予算

2 下水道の水質分析等【1,967 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場での維持管理へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3 下水道技術者の養成【159 千円】

- 下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。
- 下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4 下水道技術の調査研究【260 千円】

- 下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。
- 8月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5 下水道知識の普及及び啓発等【772 千円】

- 小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。
- リニューアルしたホームページを活用して、情報を分かりやすく発信していく。
- 水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。
- 「下水道コンクール」として、中部地区の小学校4年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。
- 「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

6. その他公社の目的を達成するために必要な事業

収 支 予 算 書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	570,944	535,797	35,147	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	570,944	535,797	35,147	
雑収益	1	3	△ 2	
受取利息	1	3	△ 2	
経常収益計	570,946	535,801	35,145	
(2) 経常費用				
事業費	554,290	520,024	34,266	
役員報酬	4,142	4,124	18	
給料手当	30,219	29,635	584	
退職給付掛金	1,872	1,872	0	
福利厚生費	5,610	5,667	△ 57	
会議費	11	10	1	
旅費交通費	269	269	0	
通信運搬費	396	357	39	
消耗品費	20,754	20,844	△ 90	
修繕費	93,066	83,699	9,367	
印刷製本費	65	368	△ 303	
燃料費	1,401	1,514	△ 113	
光熱水料費	138,187	145,126	△ 6,939	
賃借料	1,862	1,457	405	
保険料	73	73	0	
手数料	158	154	4	
租税公課	5,257	5,238	19	
委託費	250,789	219,399	31,390	
負担金	159	218	△ 59	
管理費	16,656	15,777	879	
役員報酬	1,036	1,031	5	
給料手当	6,489	6,335	154	
退職給付掛金	288	288	0	

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,248	1,263	△ 15	
会議費	11	10	1	
旅費交通費	468	468	0	
通信運搬費	304	309	△ 5	
消耗品費	936	884	52	
修繕費	116	170	△ 54	
印刷製本費	41	111	△ 70	
燃料費	227	222	5	
光熱水料費	1,163	1,211	△ 48	
賃借料	928	703	225	
保険料	64	64	0	
諸謝金	325	397	△ 72	
手数料	407	162	245	
租税公課	332	334	△ 2	
委託費	2,040	1,512	528	
負担金	233	303	△ 70	
経常費用計	570,946	535,801	35,145	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,300	1,300	0	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	1,300	1,300	0	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	4,300	4,300	0	

収支予算書内訳表

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	554,288	16,656		570,944
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	554,288	16,656		570,944
雑収益	1			1
受取利息	1			1
経常収益計	554,290	16,656	0	570,946
(2) 経常費用				
事業費	554,290			554,290
役員報酬	4,142			4,142
給料手当	30,219			30,219
退職給付掛金	1,872			1,872
福利厚生費	5,610			5,610
会議費	11			11
旅費交通費	269			269
通信運搬費	396			396
消耗品費	20,754			20,754
修繕費	93,066			93,066
印刷製本費	65			65
燃料費	1,401			1,401
光熱水料費	138,187			138,187
賃借料	1,862			1,862
保険料	73			73
手数料	158			158
租税公課	5,257			5,257
委託費	250,789			250,789
負担金	159			159
管理費		16,656		16,656
役員報酬		1,036		1,036
給料手当		6,489		6,489
退職給付掛金		288		288

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
福利厚生費		1,248		1,248
会議費		11		11
旅費交通費		468		468
通信運搬費		304		304
消耗品費		936		936
修繕費		116		116
印刷製本費		41		41
燃料費		227		227
光熱水料費		1,163		1,163
賃借料		928		928
保険料		64		64
諸謝金		325		325
手数料		407		407
租税公課		332		332
委託費		2,040		2,040
負担金		233		233
経常費用計	554,290	16,656	0	570,946
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,200	100	0	1,300
一般正味財産期末残高	1,200	100	0	1,300
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	1,200	3,100	0	4,300